

令和3年(2021年)6月28日 (月曜日)

「自然生かし町づくりを」

GW三島が シンポジウムが 水辺再生計画を提案

NPO法人グラウンドワーク三島(GW三島)は26日、「水の都・三島」の魅力アップをテーマにしたシンポジウムを三島市一番町の三島商工会議所・TMOホールで開いた。

同NPOの渡辺豊博専務が街中の水辺再生計画を提案し、「知事選争点の『水』が『水』と同じで『水』が一番大事」と述べた。市民ら約60人が来場した。渡辺さんは「湧

水網都市としての三島創造」を掲げ、市内を流れる源兵衛川の水環境を整備、御殿川の「かわまちづくり支援制

度」による整備などを、国が提示していることを説明した。

また、現在進行しているJR三島駅南口東街区再開発事業を「コロナ禍の過剰投資」と指摘し、地下水の安全性についても触れた。

その上で「水と緑の自然環境を生かした町づくりが、夢ある未来をつくる」と述べた。

この後、同NPOの

「源兵衛川設計デザイン集団」メンバーである市民ら4人が、来場者を交えて、水辺の再生と空き家の活用について討論した。



「街中水辺再生・魅力アップ計画」について話す渡辺さん
＝三島市一番町の三島商工会議所・TMOホール